

2021年4月6日
第135号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

原発をなくす全国連絡会が銀座パレード

福島原発事故から10年、原発ゼロ基本法の制定を! 被災者本位の真の復興を!

「地震で危ない原発止めて」「原発のない未来をつくろう」「エネルギーの転換しよう」—全労連も参加する原発をなくす全国連絡会は4月4日、日比谷公園中幸門から銀座パレードを行い、沿道の人たちにむけ、「フクシマ切り捨て許さない」「原発ゼロの政府を」と書かれたプラカードを掲げ、鈴を鳴らしてアピールしました。

菅政権は、原発被害者への賠償や自主避難者の住宅支援の打ち切り、放射能汚染水の海洋放出を画策するなど、福島切り捨ての政治をすすめています。立憲野党が2018年3月に提出した「原発ゼロ基本法」を制定させ、原発を廃止し、再生可能エネルギーへ転換させ、持続可能な社会を実現させましょう。



パレード前の集会では、全日本民医連の岸本啓介事務局長が主催者あいさつ。「福島の真の復興と原発ゼロ基本法の制定をめざして大運動に取り組んでいる。原発ゼロ基本法の制定を求める請願書名は10万筆に届こうとしている。原発事故は絶対に起こしてはならないが、起こさせないためには原発をゼロにするしかない。大運動を成功させ、総選挙で、原発ゼロの議員を国会に多数送りだそう。福島の真の復興、人が暮らせる福島を取り戻そう」と呼びかけました。

日本共産党の笠井亮衆議院議員が激励あいさつ。「福島原発に5回目の視察に行った。廃炉は見通せず、汚染水を海に放出するなど論外だ。ふるさとへ戻れない人が8万人もいる。

苛酷な事故が起これば取り返しがつかず、人類と共存できないのは明らかだ。原発ゼロ基本法案は3年1カ月棚ざらしで審議がされていない。福島から聖火リレーがスタートし、政府は事故をなかったことにしようとしている。いのちと尊厳を守らない政権は交代するしかない」と強調しました。

ふくしま復興共同センターの斎藤富春代表委員(福島県労連議長)からのメッセージが紹介されました。

銀座パレードが東京電力本社前にさしかかると、「東京電力は、原発事故の賠償責任を果たせ」「東京電力は、原発から撤退せよ」「柏崎・刈羽原発の再稼働は、許さないぞ」と、一段と大きく拳をあげ、抗議しました。

*当面の行動

- | | | | | |
|----------|----------|------------|---------|-----------|
| 4月9日(金) | 憲法共同センター | 9の日宣伝 | 12時～ | 新宿駅西口 |
| 4月15日(木) | 総がかり行動 | 街頭宣伝 | 18時～ | 新宿駅西口 |
| 4月16日(金) | 総がかり行動 | ウィメンズアクション | 18時～ | 有楽町・イトシア前 |
| 4月19日(金) | 総がかり行動 | 19日行動 | 18時30分～ | 国会議員会館前 |